

2004年9月22日

報道関係者各位

- 10月移植推進月間行事

東京で初めて臓器移植を受けた子供たちの作品展

## ギフト・オブ・ライフ作品展」を開催

NPO 日本移植者協議会  
ノバルティス ファーマ株式会社

日本の臓器移植患者団体、NPO 日本移植者協議会（本部：大阪府、理事長：大久保通方）とノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：通筋雅弘）は、別紙のとおり、2004年10月25日（月）から29日（金）まで東京・大手町の東京サンケイビル地下一階“メトロスクエア”で心臓、肝臓、腎臓などの臓器移植を受けた世界の子供たちの作品展「ギフト・オブ・ライフ作品展」を開催します。

この作品展は、ドナーの方々とその家族および多くの支援者に対する、移植者の限りない感謝の気持ちと、生きている喜びをできるだけ多くの人々に知ってもらい、移植医療ならびに臓器提供について考えるきっかけとしていただくことを目的として開催されるものです。

この作品展の開催に際し、NPO 日本移植者協議会理事長の大久保通方は、「この作品点は、1994年の国際移植学会から10年間、全国各地で数百回にわたり開催してきたものです。このたび新たな作品も加え、東京で初めて開催できることを大変うれしく思っています。生き生きとした子どもたちの作品を通して、生きることのすばらしさと命の大切さを多くの方々に伝えることができれば幸せです」と述べました。

また、ノバルティス ファーマ(株)代表取締役社長の通筋雅弘は、「ノバルティスは、1983年にスイスで免疫抑制剤シクロスポリンを発売（日本では1986年発売）以来、全世界で移植医療に貢献し、今年で20周年を迎えることができました。その記念すべき年に、東京で初めてこのような作品展を開催できたことを心より嬉しく思います。今後も移植医療の発展と理解の促進、そして移植者ならびに患者さんへの貢献に邁進いたします」と述べました。

今回の展示作品は1994年、2001年、2004年とこれまで3回にわたり、世界各国から募集した絵画、書、作文、詩などの作品の一部約40点で、東京では初めての開催となります。本作品展の開催について、貴メディアを通じて広く一般に告知くださいますようお願いいたします。また、開催初日の10月25日（月）午前11時より主催者、作者（数人）が会場に参っておりますので、ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

- 記 -

**名 称** : 「ギフト・オブ・ライフ - 移植を受けた子供たちの作品展 - 」

**共 催** : NPO 日本移植者協議会、ノバルティス ファーマ株式会社

**日 時** : 2004年10月25日(月)~29日(金) 午前11時~午後6時

**場 所** : 東京・大手町 東京サンケイビル地下一階“メトロスクエア”  
(東京メトロ大手町駅E1出口)

**交通機関** : 東京メトロ 丸の内線、半蔵門線、千代田線、東西線、都営三田線

以上